

はにい

ノートの達人

平成29年9月7日



廊下の掲示板にノートのカラーコピーが貼り出されています。

この中学校では、家庭での学習習慣を身に付けたり、学習内容を充実させたりすることを目的に、「家庭学習ノート」に取り組んでいます。ノートは毎日、担任の先生に提出をします。宿題ではありません。学習の内容は生徒それぞれです。その日の授業の復習をしたり、翌日の小テストのための学習をしたり……。自分で何に取り組むのかを決めて、自分で学習します。

ひたすら計算問題を解いてくる生徒、ひたすら英単語を練習してくる生徒。
得意なイラストを駆使して、ストーリー仕立てで社会の歴史をまとめてくる生徒もいます。
自分が解いた計算問題に、何をどう間違えたのか、つづやきを記入する生徒もいました。

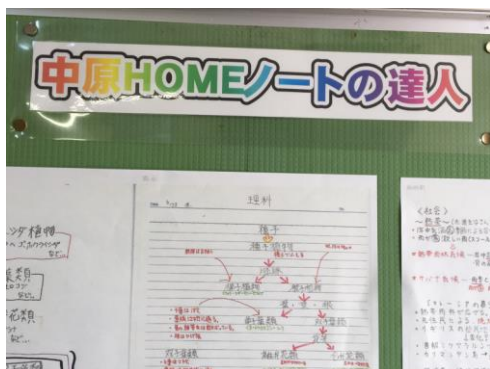
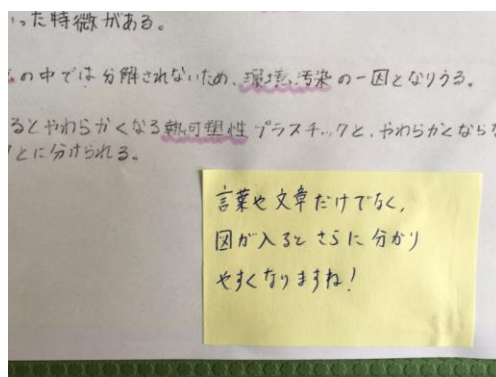
また、ノートにはいろいろな工夫があります。
教科書の内容を丁寧にまとめた社会のノート。
色ペンを使ったカラフルな理科のノート。

3ヶ月もたつと、ノートに個性が表れました。
いろいろな工夫がされたノートを、担任の先生たちが職員室で紹介し合っています。

「これは分かりやすくまとめているね。私の板書よりもいいねえ。」

「明日の授業で生徒に紹介するから貸してくれる？」

「そうだ、素晴らしいノートを他のクラスの生徒にも紹介しよう。」



こうして学年の廊下に『HOMEノートの達人』というコーナーが生まれたのです。週に1回、担任の先生が選んだノートのコピーを、コメントとともに紹介します。

「これ、私のノートだ。」

「〇〇ちゃんのノートすごいね。」

「先生、私、『ノートの達人』に選ばれました！」

休み時間の廊下からこんな会話が聞こえてきました。

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp